

船舶事故等調査報告書

平成27年5月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2014広第215号
事故等種類	衝突
発生日時	平成26年12月4日 14時45分ごろ
発生場所	愛媛県長江瀬戸 岩城島二等三角点から真方位106°2,150m付近 (概位 北緯34°15.07' 東経133°10.18')
事故等調査の経過	平成26年12月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 押船 第八港湾丸、19トン 273-3174愛媛、渡部港湾海運有限会社 B パージ 第12港湾丸、約678トン なし、渡部港湾海運有限会社 C 漁船 蛭子丸、4.74トン HS3-30730（漁船登録番号）、個人所有
乗組員等に関する情報	A 船長A、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 C 船長C、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定
死傷者等	A なし C 軽傷 1人（船長C）
損傷	A なし B 右舷船首部に擦過傷 C 左舷防舷帯が脱落及び左舷ビルジキールに破損等
事故等の経過	A船は、船長Aほか3人が乗り組み、船長Aが単独の船橋当直につき、土砂約450m ³ を積載したB船をpushしてpush船列（以下「A船push船列」という。）を構成し、上島町弓削鎌田に向けて岩城島と上島町赤穂根島との間の水路を約3ノット（kn）の速力（対地速力、以下同じ。）で手動操舵により東北東進した。 船長Aは、右舷横方向の赤穂根島三谷鼻東方沖にC船を認め、C船がA船と同じ方向を向いて航行しているように見えたので、A船push船列にとって航行に支障となる船舶ではないものと思い、C船から目を離し、同じ針路及び速力で航行中、右舷方から接近するC船を至近に認め、あわてて機関を後進一杯とした。 A船push船列は、平成26年12月4日14時45分ごろ、長江瀬戸において、B船の右舷船首部とC船の左舷船首部とが衝突した。 C船は、船長C及び甲板員Cが乗り組み、船長Cが操舵室外右舷後部に立って操舵に当たり、広島県尾道市因島土生の係留地に向けて赤

	<p>穂根島東岸沖を約1.3knの速力で手動操舵により北進した。</p> <p>C船は、船長Cが、赤穂根島三谷鼻東方沖で前路に目を向け、航行に支障となる船舶を認めなかったので、左転して岩城島東側の水路に向く針路とし、長江瀬戸を同じ速力で北北西進中、B船と衝突した。</p> <p>船長Cは、衝突時の衝撃で頭部を打撲した。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西、風力 1、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期</p>
その他の事項	<p>船長Aは、視界が良かったので、レーダーを休止していた。</p> <p>C船は、前部甲板の天幕を左舷側に巻き取っており、操舵室外右舷後部に立った状態では、左舷前方が見えにくい状況であった。</p> <p>甲板員Cは、本事故当時、船尾端中央で後方を向いて立っていた。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象等の関与 判明した事項の解析	<p>A あり、B なし、C あり</p> <p>A なし、B なし、C あり</p> <p>A なし、B なし、C なし</p> <p>A船押船列は、長江瀬戸を東北東進中、船長Aが、右舷横方向にC船を認めたものの、C船がA船押船列と同じ方向を向いて航行しているように見えたので、A船押船列の航行に支障となる船舶ではないものと思い、C船から目を離し、C船に対する見張りを行っていなかったことから、C船と衝突のおそれのある態勢で接近する状況となったことに気付かずに航行し、C船と衝突したものと考えられる。</p> <p>C船は、長江瀬戸を北北西進中、船長Cが、前路に目を向け、航行に支障となる船舶はいないものと思い、左転して針路を岩城島東側の水路に向けた後、巻き取った天幕で見えにくい左舷方の見張りを適切に行っていなかったことから、衝突のおそれのある態勢で接近するA船押船列に気付かずに航行し、B船と衝突したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、長江瀬戸において、A船押船列が東北東進中、C船が北北西進中、船長Aが、右舷横方向にC船を認めたものの、A船押船列の航行に支障となる船舶ではないものと思い、C船から目を離し、C船に対する見張りを行っておらず、また、船長Cが、前路に目を向け、航行に支障となる船舶はいないものと思い、巻き取った天幕で見えにくい左舷方の見張りを適切に行っていなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常時、見張りを適切に行うこと。